

学校種間や地域・関係機関との連携を図るキャリア教育実践事例集

すべての子どもたちに未来を 切り拓く力を育むキャリア教育

～北海道におけるキャリア教育の一層の充実のために～

理論編

- キャリア教育にかかわる課題(P1)
- キャリア教育とは(P1)
- 全体計画・年間指導計画の作成(P2)
- 小学校におけるキャリア教育(P5)
- 中学校におけるキャリア教育(P7)
- 高等学校におけるキャリア教育(P9)
- 職場体験を実施するに当たっての健康管理や安全確保上の配慮(P11)

資料編

- 各種調査結果(P43)
- キャリア教育Q&A(P45)
- 参考資料

実践事例編

- 「縦」「横」の連携によって支えられるキャリア教育(P14)
- 空知：幼・小・中・高の発達の段階に応じた系統的なキャリア教育の推進(P15)
- 空知：普通科高校におけるインターンシップの充実を中心とした取組(P18)
- 石狩：5日間の職場体験を実現する江別市のキャリア教育推進事業(P19)
- 石狩：3か年を見通した組織的・系統的な学習プログラムの開発(P20)
- 後志：近隣の町村と連携を図った職場体験活動の実施(P21)
- 後志：職業能力開発大学校との連携を図った取組(P22)
- 胆振：中高一貫教育の「生き方学習」(P23)
- 日高：「えりも地区中高一貫キャリア教育」の取組(P24)
- 日高：組織的・系統的なキャリア教育(デュアルシステム)(P25)
- 渡島：勤労観・職業観を育む社会人講話、卒業生による進路ガイダンス(P26)
- 檜山：地域と連携した体験活動による基礎的・汎用的能力の育成(P27)
- 上川：地域が一体となって取り組むキャリア教育の推進(P28)
- 上川：キャリアノートの作成と活用(P29)
- 上川：長期間のインターンシップの取組～旭工版デュアルシステム～(P31)
- 宗谷：ふるさと教育と関連させたキャリア教育の実践(P32)
- 留萌：学力向上との関連を図り、既存の組織を活用した体制整備の工夫(P33)
- 十勝：「子どもの未来」を築く「未来創造塾」(P35)
- 十勝：地域の教育力を最大限に活用したキャリア教育の推進事業(P37)
- オホーツク：中高6年間の一貫したSTCプログラム(P38)
- 根室：ふるさとの明日(みらい)を創る子どもの育成(P39)
- 釧路：9年間を見通した全体計画に基づくキャリア教育の実践(P41)

北海道教育委員会

平成25年3月

学校種間や地域・関係機関との連携を図るキャリア教育実践事例集

すべての子どもたちに未来を 切り拓く力を育むキャリア教育

～北海道におけるキャリア教育の一層の充実のために～

理論編

キャリア教育にかかわる課題	1
キャリア教育とは	1
全体計画・年間指導計画の作成	2
小学校におけるキャリア教育	5
中学校におけるキャリア教育	7
高等学校におけるキャリア教育	9
職場体験を実施するに当たっての健康管理や安全確保上の配慮	11



(1) 北海道の小・中学校におけるキャリア教育にかかわる課題

北海道の子どもは、自分への自信や将来の夢など、自己肯定感や自尊感情が、全国と比較して低い傾向が見られます。また、中学校における職場体験の実施日数平均は、全国平均に比べ少ない状況です。

(平成24年度全国学力・学習状況調査質問紙調査調査結果より)

児童生徒の状況

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童生徒」	小学校		中学校	
	北海道	全国	北海道	全国
■自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	72.3	76.8	65.9	68.2
■将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合	85.1	86.7	72.3	73.2

中学校における職場体験の実施日数

(職場体験・インターンシップ実施状況等調査より)

	平均日数	6日以上	5日	4日	3日	2日	1日
全道 (H22)	1.7日	0.2%	2.0%	1.0%	12.0%	35.2%	49.6%
(H23)	1.6日	0.2%	1.5%	1.2%	9.0%	33.3%	54.8%
全国 (H22)	2.9日	0.7%	17.2%	4.7%	37.7%	27.2%	12.5%

(2) キャリア教育とは

教育振興基本計画（平成20年7月閣議決定）において、子どもたちの勤労観や社会性を養い、将来の職業や生き方についての自覚に資するよう、「小学校段階からのキャリア教育を推進する」ことが示されており、すべての小・中学校において教育活動全体を通したキャリア教育の充実が求められます。

キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

(中教審答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」平成23年1月)

キャリア発達とは

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

(中教審答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」平成23年1月)

キャリア教育で育成すべき力

人間関係形成・社会形成能力

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

自己理解・自己管理能力

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

課題対応能力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力

基礎的・汎用的能力

キャリアプランニング能力

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

(3) 全体計画・年間指導計画の作成

全体計画の作成

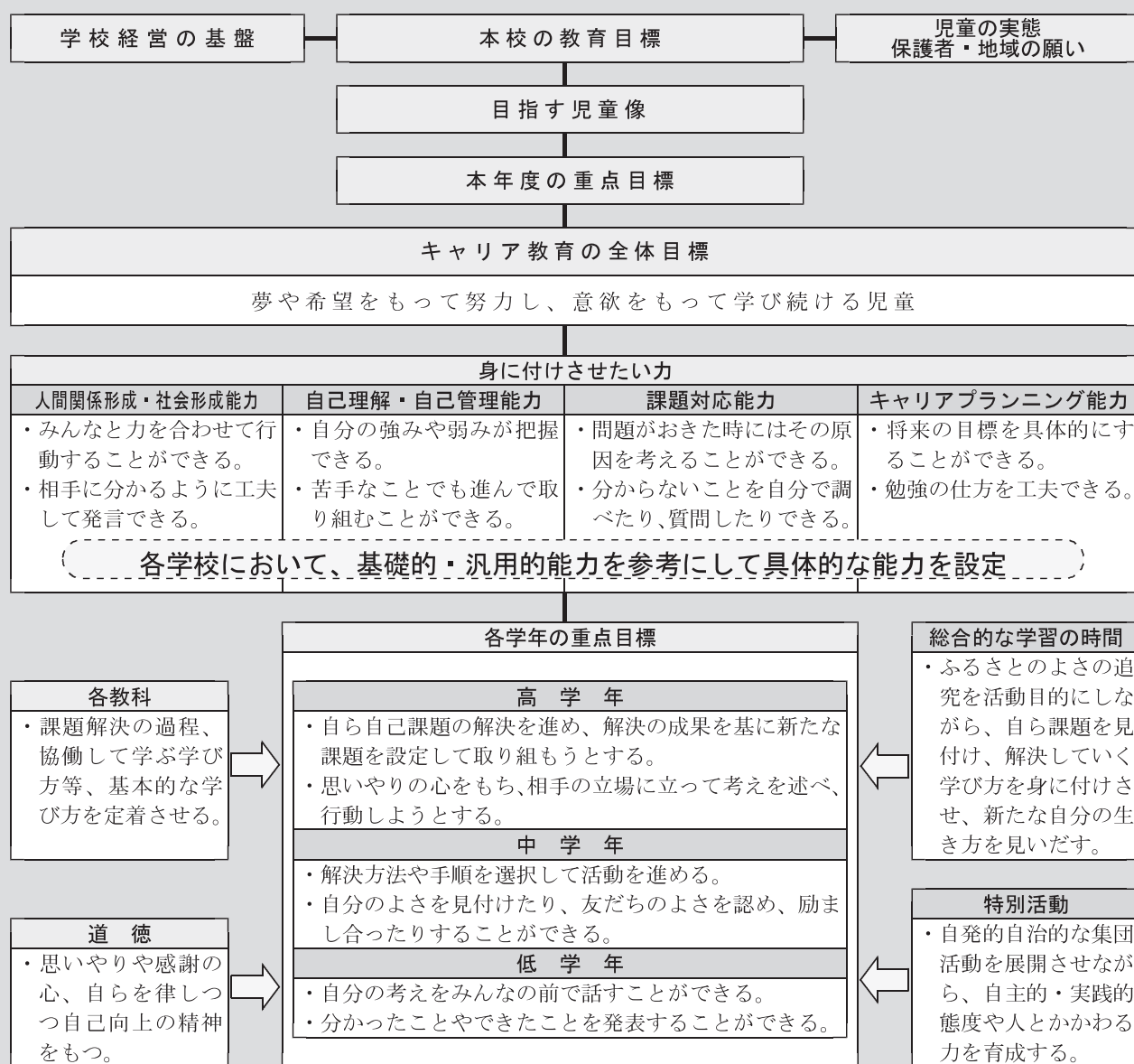
キャリア教育における「まずはここから」

キャリア教育は、特定の活動や指導方法に限定されるものではなく、様々な学校教育活動全体を通じて体系的に行われるものです。

各学校においては、子どもの発達の段階に応じた課題や、それぞれの地域や学校の実態等を踏まえて焦点化・重点化して、キャリア教育の全体計画を作成し、全教職員で共通理解を図ることが大切です。

キャリア教育の全体計画について、中教審答申では、「初等中等教育においては、キャリア教育の全体計画やそれを具現化した年間指導計画を作成している学校が少ないという指摘があり、子どもの発達の段階に応じた課題や、それぞれの地域や学校の実態等を踏まえ、キャリア教育の指導計画を作成することが必要である」と示されています。（中教審答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」平成23年1月）

全体計画の例（小学校）



全体計画作成のポイント

- ・「身に付けさせたい力」の記述は、卒業時点で「できるようにさせたい」内容を行動で示すことが重要です。そのため、児童生徒の実態や保護者の願いを踏まえ、基礎的・汎用的能力に区分して整理し、「～できる」など、具体的で評価可能な子どもの姿で設定するようにします。